

書誌第102号追

本州北西岸水路誌

追補第9

令和8年（2026）6月26日発行



海上保安庁

本 州 北 西 岸 水 路 誌

追 補 第 9

この追補は、令和4年3月刊行の本州北西岸水路誌の記載事項を更新するもので、令和8年4月17日までに入手した資料を基に編集したものです。

追補は、更新情報を記載した「本文」と、それを検索するため、ページ番号等を記載した「索引」から構成されています。

「索引」については、更新箇所の表題や港名等を記載し、ページ番号順に並べています。

「本文」については、本追補の更新箇所は、灰色背景で赤色文字にて示しています。

【】で囲んだ内容は、削除や差し替えを行うことを意味しています。

図の挿入等によりページ内に収まらない場合は、水路誌本誌とのページ番号を整合させるため、追補においては、便宜的に枝番号を付しています。

令和8年6月26日

海上保安庁海洋情報部

注 意

海上保安庁は、各国が発布した諸法規、宣言、海図及び水路通報・航行警報並びに船舶等からの視認報告のうち、船舶交通の安全の確保と海洋環境の保全という観点から、航海の安全及び環境保全に影響を与える可能性のある情報については、水路通報及び航行警報により周知するほか、海上保安庁の海図その他の航海用刊行物にも掲載するようにしています。

これらの情報を利用するにあたっては、海上保安庁によるこれらの情報提供は、航海の安全等のための利用を目的としており、その内容は日本政府がこれらの諸法規、宣言等を承認したことを意味するものではない点に留意してください。

ページ	更新箇所（表題、港名等）	備 考
6	気象情報	追補第5の当該ページは無効
19	日本の船位通報制度	
52	仙崎湾	追補第7の当該ページは無効
62	浜田港	追補第7の当該ページは無効
71	来居港	
72	来居港	追補第3の当該ページは無効
73	浦郷港	追補第5の当該ページは無効
78	西郷港	
83	境港	追補第4の当該ページは無効
90	鳥取港	追補第7の当該ページは無効
96	津居山港	
105	舞鶴港	追補第3の当該ページは無効
114	敦賀港	追補第8の当該ページは無効
116	越前漁港	
118	福井港	追補第5の当該ページは無効
121	金沢港	追補第8の当該ページは無効
140	伏木富山港 国分区及び付近	追補第6の当該ページは無効
143	伏木富山港 新湊区及び付近	追補第7の当該ページは無効
153	寺泊港、新潟港	追補第5の当該ページは無効
154	新潟港	追補第5の当該ページは無効
155	新潟港	
156	新潟港 西区及び付近	追補第8の当該ページは無効
157	新潟港 西区及び付近	追補第6の当該ページは無効
158	新潟港 西区及び付近	追補第5の当該ページは無効
159	新潟港 東区及び付近	追補第5の当該ページは無効
168	岩船港	
178	秋田船川港 秋田区	追補第8の当該ページは無効

快晴日数 地域によって違いがあるが、一般に南西部に多く、鳥取・島根では年平均快晴日数は約 16 日、北東部の青森・秋田・新潟では約 12 日である。

春季～秋季には快晴日数が多くなり、各地とも 5、8 月及び 10 月に多く、梅雨及び冬期に少なくなる。

雷 敦賀、金沢、輪島など若狭湾の東岸から能登半島付近及び新潟、酒田、秋田などの地方に多く、これらの地方の年平均雷日数は約 35 日であり、季節的には晩秋～初冬及び夏季に多い。また、舞鶴以西の年平均雷日数は約 24 日で、夏季に集中する傾向がある。

気 象 情 報

全般海上警報 気象庁は北西太平洋の 100° E～180° E、赤道～60° N の海域を対象として、全般海上実況・予報・警報を発表している。これらの情報はセイフティネットや漁業無線気象通報によって放送されている。また、気象無線模写通報(JMH)で放送しているものもある。

セイフティネットとは、国際海事機関(IMO)が管理する海上安全情報の国際的な放送システムであり、気象庁は世界の海を 21 に分けたセイフティネット区域のうち北西太平洋区域の警報と概況及び台風予報を 1 日 4 回(0530、1130、1730 及び 2330 (JST))、インマルサット C システムの高機能グループ呼出セイフティネット(EGC Safety NET)により、インマルサット太平洋衛星経由で放送している。これらの定時放送のほか、風速 48kn 以上の台風が存在するか、あるいは 24 時間以内に予想される場合には、定時放送の 3 時間後に臨時警報を放送する。

地方海上警報 この水路誌の記載区域及び周辺の海域に関係する担当気象台が発表する警報は、海上保安庁の海岸局から無線電話、NAVTEX 及び漁業無線気象通報により随時及び定時に送信される(第 1 編 総記、第 8 章 海難防止、海上保安庁の通信業務の項参照)。

天気図等 気象庁が作成した天気図類は、気象庁 気象無線模写通報(JMH)により放送されている。

呼出符号	電波の型式	周波数 (kHz)
JMH	F 3 C	3622. 5
JMH2		7795
JMH4		13988. 5

その他、各種気象情報が NHK **AM**、共同通信社からファクシミリ放送などによっても提供されている。

船舶気象通報 プレジャーボートや漁船等の操縦者、海水浴や釣り等のマリンレジャー愛好者の方々に対して、全国各地の主要な岬の灯台等航路標識 132 か所において、局地的な風向、風速、気圧及び波高の気象・海象の観測を行い、その現状をテレホンサービス及びウェブページにより提供している。

船舶気象通報を行う航路標識の名称、気象観測項目等は書誌第 411 号「灯台表第 1 巻」に記載してある。

日本の船位通報制度

海上保安庁は、日本の船位通報制度(JASREP : Japanese Ship Reporting System) を、次のとおり運用している。

船位通報制度 URL <https://www.kaiho.mlit.go.jp/mission/kainan/jasrep.html>

1 制度の概要

目 的	対象海域内の船舶からの通報によってその動静を把握することにより、当該海域における海難救助の効率化を図る。
対 象 海 域	北緯 17 度の線以北かつ東経 165 度の線以西の海域。
参 加 船 舶	対象海域内にあって、次表に掲げる要領に従い通報を行うことができる船舶。
参 加 方 法	この制度への参加は、次表に掲げる航海計画を送った時に始まり、最終通報を送った時に終了する。

2 通報要領

通報の種類	通 報 の 時 期	主 な 通 報 事 項
航 海 計 画	対象海域内の港から出発したとき又は対象海域に入域したとき。	船名、識別信号、出発港及び出発日時又は対象海域に入域した地点及び日時、目的港及び到着予定日時、予定の航路並びに速力
位 置 通 報	航海計画又は前回の位置通報から 24 時間以内。	船名、識別信号、位置及び日時
変 更 通 報	航海計画を変更したとき。	船名、識別信号、航海計画の通報事項のうち変更した事項
最 終 通 報	対象海域内の港に到着するとき又は対象海域を出域するとき。	船名、識別信号、到着港及び到着日時又は対象海域を出域する地点及び日時

注意 (1) 航海の途中で参加を希望するときは、航海計画を通報することにより参加できる。また、航海の途中で参加を終了したいときは、最終通報を通報することにより終了することができる。

(2) 米国の船位通報制度 AMVER 参加船で JASREP への参加を希望する船舶は、AMVER 通報の Y 項目に JASREP と記入すれば自動的に参入することができる。また、JASREP 参加船で AMVER への参加を希望する船舶は、JASREP 通報の Y 項目に AMVER と記入すれば自動的に参入することができる。

(3) 気象庁に気象通報を行っている船舶については、希望により JASREP の位置通報を省略することができる。この場合、海上保安庁では気象通報を JASREP の位置通報とみなす。

この取り扱いを希望する船舶は、航海計画、変更通報及び最終通報の X 項目に [OBS] を表示すること。

3 通報の方法及び通報先

海上保安庁海岸局への VHF 無線電話（国際 VHF）又は海上保安庁警備救難部管理課運用司令センターへの電子メールによる通報のほか、最寄りの海上保安部署への書面の提出又は電報、電話による通報も受け付けている。

海上保安庁警備救難部管理課運用司令センター

電子メールアドレス jasrep@jcgcomm.jp

~~テレックス番号 722225193JMSAHQ-J~~

目標

地物名	概位	備考
今 岬	34° 25.0' N 131° 07.9' E	灯台がある。
竹の子岩	34° 26.0' N 131° 10.1' E	高さ33m、切り立った茶褐色の岩
潮場の鼻	34° 26.3' N 131° 15.1' E	灯台があり、付近は陰しく切り立ち奇観を呈す。
大 島	34° 24.9' N 131° 16.1' E	高さ115m、北端に灯台がある。青海島南東端との間の水道を帆止ノ瀬戸といい、水深10m以上の幅は約300mである。
無線塔	34° 22.2' N 131° 19.2' E	高さ542m、パラボラアンテナ付、日尾山頂521mにある。
鯖《サバ》島	34° 25.7' N 131° 19.2' E	島頂は高さ142mの鋭峰、西方からの目標によい。
虎ヶ埼	34° 27.6' N 131° 23.8' E	灯台があり、港口接近時の目標によい。
遠 岳 山	34° 31.6' N 131° 28.2' E	高さ416m、西方約1.2kmの埼端上に灯台がある。
宇 田 島	34° 34.4' N 131° 28.8' E	高さ41m、島岸はほとんどがけ、頂は平らで松が茂っている。
金 井 埼	34° 36.9' N 131° 33.4' E	陰しく切り立ったがけ
高山《コウヤマ》岬	34° 39.9' N 131° 36.8' E	灯台があり、顕著

注意 次のとおり各定置網がある。

- ・ 青海島東岸至近の松島南方約400mの海岸から東方へ約0.5M延びる定置網がある。
- ・ 鯖島東岸の距岸650m以内に定置網及び鯖島南岸から南東方へ約0.5M延びる定置網がある。
- ・ 虎ヶ埼の東南東方海岸から北東方へ約0.6M延びる定置網及び大島東岸北部から東北東方へ約700m延びる定置網がある。
- ・ 弁天埼 (34° 35.0' N 131° 33.2' E) から北西方へ約0.8M延びる定置網がある。
- ・ 高山岬の東方約1Mにある海岸付近から北東へ約0.5M延びる定置網がある。

深川《フカフ》湾 (34° 23.6' N 131° 09.8' E) (海図W136)

概要 今岬(目標の項を参照)と青海島北西端との約2Mを湾口として北方へ開き、南東方へ約3M湾入する。水深は、湾口の約40mから奥に向かって漸減し、底質は砂又は礫で、湾奥は小石の浜である。

北寄りの風のとき以外は、湾内所要の水深の所に錨泊できるが、錨かきは余り良くなく、海草が多いという。湾の東部は、仙崎瀬戸で仙崎港に続く。

仙 崎 湾 (34° 24.5' N 131° 14.5' E) (海図W1177)

概要 青海島の南側にある東方へ開いた湾で、笹島とその南方対岸との間を湾口とし、長さ約4M、幅約1～2Mである。湾奥に仙崎港があり、仙崎瀬戸によって深川湾に通じている。

湾内の水深は20～35mで、底質は泥又は砂泥、風向によって南、北両側に安全な錨地が得られる。

仙崎湾西岸の大日比沖の水深10～20mの所は、西～北風を防ぎ2,000t以下の船舶の好錨地である。

湾の南浜にある野波瀬漁港の沖合、水深18～28mの所は、南～西風を防ぎ2,000t以下の船舶の好錨地であるが、幸島の南西方400m付近に魚類の養殖施設があるので注意を要する。

仙崎湾北側(青海島南東岸の通《カヨイ》から南西方の約1,000m～約2,500mの沖合)に、いけす及び関連する5基の円柱形の白色灯付浮標があるので注意を要する。

青海島と大島間の帆止ノ瀬戸 (34° 25.0' N 131° 15.8' E) は、1,000t以下の船舶が通航している。

針路法 湾口に夜標が少ないので、夜間の入港がやや困難である。入港の際は、大島北東方付近の縄掛礁～壁岩間、沢尾曾(東側に灯浮標がある)～黒島間、鹿の島～三ツ子岩間の各中央を通航して、所要の錨地に向かう。

三 階 山	34° 52.4' N 132° 05.0' E	高さ 379m、山頂の北北西方約 480m の山腹に 2 基の無線塔(各パラボラアンテナ付、灰色、水銀灯を点ずる)がある。 水銀灯は良い夜間目標である。
大島〔天神島〕	34° 52.7' N 132° 02.7' E	
8 サ イ ロ	34° 52.8' N 132° 03.4' E	セメント用
無 線 塔	34° 54.1' N 132° 04.5' E	高さ 101m、赤白塗

架橋 漁港ふ頭と瀬戸ヶ島間に、浜田マリン大橋 (34° 53.8' N 132° 03.7' E、高さ約 18m) がある。

入港上の注意 馬島～瀬戸ヶ島間を通航する場合は、潜堤や鶴島グリなどの陰礁に注意する必要がある。
馬島の北東岸から北東方へ延びる馬島防波堤がある。

漁港区域へ出入するときは、防波堤が高いので行会い船の船体が隠れることがあるので注意する必要がある。

冬季は港口付近で、高波が立ち航行困難になることがある。海上平穏な日には、港口付近に多数の遊漁船と防波堤に釣り客を渡す瀬渡し船が出ている。

夜間入港時、小伊勢島 (34° 54.0' N 132° 02.2' E、高さ 1.5m) は馬島灯台の照射灯に照らされているが、北方及び東方からの接近時には視認しにくく、また西方からの港口への接近は港口と街の灯りが重なり、出港船等が視認しにくいので注意を要する。

航泊制限 引火性危険物積載タンカーの引火による事故を防止するため、一般船舶は、港内に停泊中の同タンカー (タンク船を含む) から 30m 以内の海面に立ち入ることが禁止されている。なお、同タンカーは、港内停泊中、夜間でも容易に視認しうる「引火性危険物積載中」の垂れ幕等を掲げている。

水先 水先法という水先区ではないが、水先類似行為者がいるので、浜田港運(株) (TEL:0855-27-0072) を通じて申し込む。水先類似行為者は、浜田港シャックリ灯標から 304° 0.5M 付近又は同灯標から 270° 0.6M で錨泊した船舶に乗船する。

港湾施設 港湾区域には西側に長浜ふ頭、東側に福井ふ頭があり、漁港区域には中央に漁港ふ頭がある。

港湾区域

名 称		概 位	長さ (約m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
長 浜 ふ 頭	1 号岸壁	34° 52.6′ N 132° 02.7′ E	185	9～9.5	15,000×1	
	2 号岸壁	34° 52.6′ N 132° 02.6′ E	130	6.5～7	5,000×1	
	3 号岸壁	34° 52.6′ N 132° 02.8′ E	70	5～7	1,000×1	
	4 号岸壁	34° 52.7′ N 132° 02.6′ E	90	6	2,000×1	
	1～3 号物揚場	34° 52.5′ N 132° 02.5′ E	延長 330	3～4.5	500×3	
長浜栈橋		34° 52.5′ N 132° 02.6′ E	120	北側 3～7.5 南側 3～7.5	—	
福 井 ふ 頭	1 号岸壁	34° 52.7′ N 132° 03.4′ E	130	7～7.5	5,000×1	
	2 号岸壁	34° 52.7′ N 132° 03.5′ E	90	5～7.5	2,000×1	
	3 号岸壁	34° 52.9′ N 132° 03.3′ E	240	11～14	30,000×1	多目的クレーン 1 基
	4 号岸壁	34° 52.8′ N 132° 03.3′ E	170	8	5,000×1	ガントリークレーン 1 基

知夫漁港 ($36^{\circ} 00.4' N$ $133^{\circ} 02.6' E$) (海図W1189)

(2020 年 6 月撮影)

概要 知夫里島南岸、知夫里湾の奥にある漁港である。湾口東側に知夫港灯標 ($36^{\circ} 00.3' N$ $133^{\circ} 02.7' E$) 及びその西方にある離岸堤の内側に魚類の養殖施設等があるので注意を要する。

港湾施設 湾奥には防波堤に囲まれた船だまりがあり、防波堤基部西側に船揚場 (長さ 60m)、-4m 岸壁 (延長 170m) 及び-5m岸壁 (長さ 100m) がある。

錨地 港内の水深は 10m前後で、南寄りの風のと看以外は小型船の好錨地になる。

来居《クリイ》港 ($36^{\circ} 01.7' N$ $133^{\circ} 02.4' E$) (海図W1298)

(2020 年 6 月撮影)

概要 知夫里島北岸のほぼ中央付近にある地方港湾である。

東側の岬端から大島を経て、更に、北方へ延びる **沖 1 号防波堤** (先端に灯台あり) があり、その西側にある泊地は水深約 2~10mで北西方へ開く。

港湾施設

名 称	概 位	長 さ (約m)	水 深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
1 号岸壁	36° 01.5' N 133° 02.4' E	136	5	—	フェリーターミナルがある。 大島の西方対岸
2 号岸壁	36° 01.6' N 133° 02.3' E	50	—	—	1 号岸壁北側
3 号岸壁	36° 01.6' N 133° 02.3' E	30	—	—	2 号岸壁北側
4 号岸壁	36° 01.6' N 133° 02.3' E	145	—	—	3 号岸壁北側

上表のほか、泊地南東奥の船だまりに物揚場がある。

海上交通 境、七類港及び隠岐諸島の各港に至るカーフェリー便（2,375 t ほか）及び高速船がある。

西 ノ 島 (36° 06.0' N 132° 59.4' E) (海図W1189)

概要 島前の最大島で、低い地峡を通る小運河によって東、西に二分されている。島の西側と北側は陰しいがけで、おおむね急深であるが、所々に岩礁が沿布する。

別府湾 (36° 06.2' N 133° 03.4' E) 中井口に面した西ノ島東岸の湾で、各種船舶の好泊地である。

湾奥の**見付島**（樹木が密生）の東方で水深 20m、底質泥の所が錨地に良い。

黒木埼 (36° 06.7' N 133° 02.7' E)（頂部付近に神社がある）は、見付島の北北東方対岸にあり、見付島とともに樹木の密生した好目標である。

湾内には海草が多いという。

湾奥北部に別府港があり、定期船が出入りする。

目標

地 物 名	概 位	備 考
三度《ミタベ》埼	36° 04.0' N 132° 56.8' E	灯台がある。
黒島鼻〔赤灘鼻〕	36° 02.3' N 132° 59.9' E	赤灘口北側の岬角、先端に灯台がある。
麦 山 鼻	36° 03.8' N 133° 01.4' E	灯台がある。
焼火《タクヒ》山	36° 04.5' N 133° 01.9' E	高さ 452m（島の最高峰）、頂に 3 基のテレビ中継塔（赤白塗 2 基及び銀色塗）がある。
高 崎 山	36° 07.8' N 133° 01.6' E	高さ 435m
冠 島	36° 08.3' N 133° 05.5' E	高さ 94m、北・東両岸は絶壁で、南西方に向かって緩傾斜している。

浦郷港 (36° 05.2' N 132° 59.8' E) (海図W116) (JP UA0)



(2020年6月撮影)

港種 港則法適用港

概要 西ノ島中央部にある港で、漁港でもある。水産物の流通拠点、漁船の避難港として、また島前の表玄関として発展している。

港内北東部の美田湾(36° 05.9' N 133° 00.6' E)に地方港湾の美田港がある。湾内の幅は狭いが小型船の好錨地になっている。湾内東側には小型船用の係船施設がある。港奥の船越に幅約12m、長さ約300mの浅い小さな運河(船引運河)があり、北側の港へ通じる。また、浦郷港西方の赤ノ江及び由良湾に浦郷漁港の施設がある。

目標

地物名	概位	備考
獅子ヶ鼻	36° 05.0' N 133° 00.4' E	高さ47m
島根鼻	36° 05.0' N 132° 59.5' E	
中央公民館	36° 05.5' N 132° 59.6' E	白色
警察署	36° 05.5' N 132° 59.8' E	4階建、無線塔がある。

港湾施設

名称	概位	長さ(約m)	水深(約m)	係船能力(D/W×隻)	備考
本郷岸壁	36° 05.5' N 132° 59.6' E	95	4~6.5	—	突堤東側、前面に險悪物がある。
		72	—	—	
2号・7号岸壁	36° 05.5' N 132° 59.5' E	144	—	—	耐震岸壁
11号岸壁	36° 05.3' N 132° 59.5' E	176	—	—	

島根鼻の北東方約300m及び同650m付近から北東方に延びる浮消波堤(長さ約150m、約200m)には、両端に緑・赤灯、中央に黄灯がある。

東方から入港する場合は、飯ノ山を 272° に見て進み港口に近づく。

南東方から接近する際は、西郷港姫島灯標とホテルを一線 (317°) に見る線上を進み港口に近づく。

入港上の注意 港口の南方、白埼の前面にある黒島 ($36^{\circ} 10.2' N$ $133^{\circ} 20.6' E$ 、高さ 7m) は、同埼にある西郷岬灯台の灯光の下に隠れるので、夜間は特に注意を要する。

港湾施設 隠岐の島町の中央部を流れる八尾川河口を中心として、ほぼ東、西両側に係船施設がある。また、北浦北部に工業用のふ頭がある。

商港地区

名 称	概 位	長さ (約m)	水 深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
飯田 1 号岸壁	$36^{\circ} 13.0' N$ $133^{\circ} 20.9' E$	70	5	1,000×1	南北両側が浅い。
飯田 2 号岸壁		105	6	3,000×1	1 号岸壁の南西隣 東側は浅い。
飯田 3 号岸壁	$36^{\circ} 13.0' N$ $133^{\circ} 20.8' E$	105	6.5	3,000×1	2 号岸壁の西隣
津井岸壁	$36^{\circ} 12.8' N$ $133^{\circ} 20.8' E$	130	7	5,000×1	
東 町 岸 壁	$36^{\circ} 12.3' N$ $133^{\circ} 20.2' E$	70	4	1,000×1	
本港浮棧橋	$36^{\circ} 12.1' N$ $133^{\circ} 20.1' E$	170	—	3,000×1	
本港 1 号岸壁	$36^{\circ} 12.2' N$ $133^{\circ} 20.1' E$	170	—	3,000×1	フェリー用、耐震岸壁
本港 2 号岸壁		50	—	3,000×1	1 号岸壁の北隣

漁港地区

名 称	概 位	長さ (約m)	水 深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
西郷 1 号岸壁	$36^{\circ} 12.1' N$ $133^{\circ} 19.8' E$	145	—	—	験潮所前面
西郷 2 号岸壁	$36^{\circ} 12.1' N$ $133^{\circ} 19.8' E$	120	—	—	1 号岸壁の南隣
塩 口 岸 壁	$36^{\circ} 12.1' N$ $133^{\circ} 19.7' E$	154	2.5	—	1 号岸壁の西隣
—4 m 岸 壁	$36^{\circ} 11.8' N$ $133^{\circ} 19.7' E$	299	—	—	1 号岸壁の南方対岸

錨地 西浦には浅礁があり、浦口の可航幅が狭いため、一般の船舶はすべて北浦に錨泊する。北浦 ($36^{\circ} 12.6' N$ $133^{\circ} 20.5' E$) は、湾入約 1.5M、10m等深線は、距岸 100～150mにある。湾の中央付近に最小水深 12.8mの円形岩盤 ($36^{\circ} 12.4' N$ $133^{\circ} 20.5' E$ 、半径約 150m) があるほかは底質泥の所が多く、また四方の風を防ぎ錨かきも良いので好錨地が得られる。

錨泊上の注意 北浦に錨泊する際は、万古山西岸と犬島埼 ($36^{\circ} 12.9' N$ $133^{\circ} 20.7' E$) とを結んだ線以東の区域の、ワカメの養殖施設 (10 月～翌年 5 月) に注意を要する。

海事関係官公署

官公署名	連 絡 先	官公署名	連 絡 先
隠岐海上保安署	08512-2-4999	島根県隠岐支庁県土整備局	08512-2-9724
神戸税関税関支署西郷監視署	08512-3-0210		

補給 清水の補給ができる。給油船がある。

修理 上架能力 50 t 以下の造船所が 3 社あり、機関修理工場が数社ある。

中野 1 号岸壁		35° 32. 2′ N 133° 15. 1′ E	240	12	30, 000×1	
外港 1 号岸壁		35° 32. 9′ N 133° 15. 3′ E	370	9	10, 000×2	
外港 2 号岸壁			260	7. 5	5, 000×2	
係 船 岸 壁		35° 32. 9′ N 133° 14. 4′ E	980	3～7	—	巡視船係留、定期船・渡船発着
内 港	1 号岸壁	35° 32. 8′ N 133° 13. 4′ E	200	6	3, 000×2	
	2 号岸壁		91	4. 5	1, 000×1	
	3 号岸壁		163	4～5. 5	3, 000×1	
	4 号岸壁		130	6. 5	3, 000×1	
竹 内	1 号岸壁	35° 31. 7′ N 133° 15. 2′ E	100	7. 5	2, 000×1	
	2 号岸壁		100	7	2, 000×1	
	3 号岸壁		100	7～7. 5	2, 000×1	
	4 号岸壁		130	7. 5～8	5, 000×1	
竹内南 1 号岸壁		35° 31. 4′ N 133° 15. 5′ E	300	10. 0	約 130, 000 G/T×1	クルーズ船
森 山 岸 壁		35° 32. 9′ N 133° 13. 1′ E	300	2～4. 5	700×5	
外江 1 号岸壁		35° 32. 5′ N 133° 12. 9′ E	300	3. 5～6	700×5	
外江 2 号岸壁		35° 32. 3′ N 133° 12. 6′ E	300	3. 5～4	700×5	
中 野 岸 壁		35° 32. 1′ N 133° 14. 7′ E	—	3～4	—	
江島 1 号岸壁		35° 31. 2′ N 133° 11. 5′ E	165	9	10, 000×1	
江島 2 号岸壁			130	7. 5	5, 000×1	

上表のほか、境港防波堤灯台の南西方約1kmの石油基地前面に棧橋(1～4号)がある。

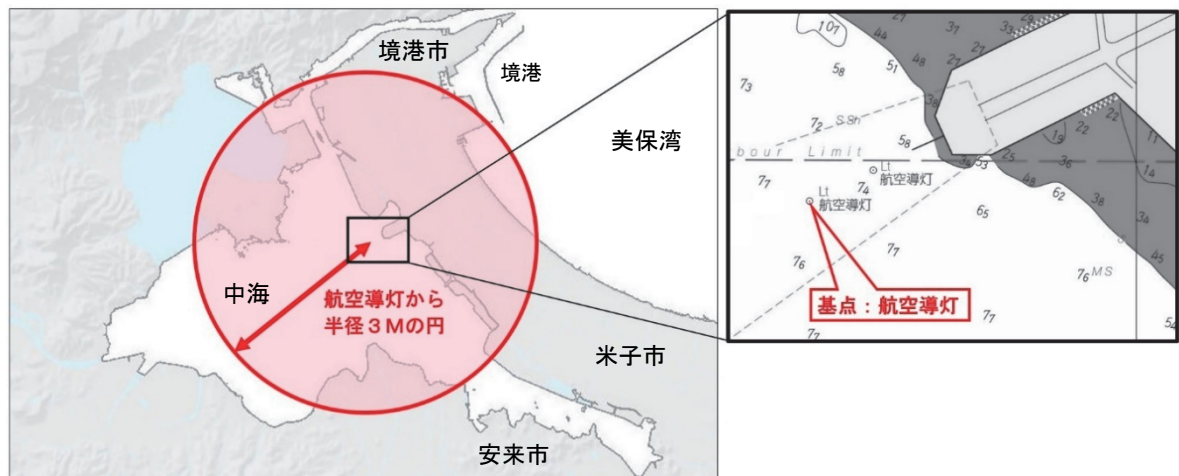
最大入港船舶 2023年6月25日、客船 MSC ベリッシマ (171,598 t、喫水 8.7m) が竹内南第1号岸壁に着岸した。

荒天時の注意 境海上保安部では、米子空港周辺海域における荒天時の走錨等に起因する事故防止のため、次のとおり錨泊の自粛を指導している。

自粛海域：中海に設置されている米子空港の航空導灯（西側）(35° 29.1' N 133° 13.1' E)を中心とする半径3M以内の海域（美保湾を除く）

自粛期間：気象庁から鳥取県米子地区又は島根県松江地区に「暴風」又は「暴風雪」の気象警報が発表又は発表が予測されるときから同警報が解除されるまでの間。

第9図 荒天時の錨泊自粛海域図



港種 港則法適用港、重要港湾

概要 千代川河口の西側にある河口港のため、河川と港湾とを分離して、流砂による港湾機能の低下を防止した。更に大型船用の岸壁など、鳥取県中、東部の流通拠点港として整備された。港内は、商港区（千代地区）と漁港区（賀露地区・西浜地区）に分かれている。

気象 北～北東方の風が吹く時は、港内にうねりが侵入する。

目標

地物名	概位	備考
鳥ヶ島	35° 32.6' N 134° 11.0' E	島頂に鳥取港灯台がある。
サイロ	35° 32.4' N 134° 11.4' E	銀色、2基

入港上の注意 北寄りの風又はうねりが強いときは、川の流れも影響して港口付近は、波が高くなり出入港が困難になることがある。また、千代川が増水した時は、出入港に注意が必要である。

水先 水先法にいう水先区ではないが、境水先区水先人会が要請に応じる。（第1編総記 第6章水先参照）

港湾施設

名 称		概 位	長 さ (約m)	水 深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
千代	1 号岸壁	35° 32.5′ N 134° 11.2′ E	185	9.5	10,000×1	
	2 号岸壁	35° 32.5′ N 134° 11.4′ E	260	7	5,000×2	
	3 号岸壁	35° 32.4′ N 134° 11.2′ E	130	6.5～7	5,000×1	
	4 号岸壁	35° 32.3′ N 134° 11.3′ E	180	5.5～6	2,000×2	
	5 号岸壁	35° 32.3′ N 134° 11.4′ E	300	2.5～4.5	700×5	
	6 号岸壁	35° 32.2′ N 134° 11.5′ E	120	3.5～5	700×2	
	7 号岸壁	35° 32.1′ N 134° 11.7′ E	180	2.5～3.5	700×3	
	8 号岸壁	35° 32.5′ N 134° 11.5′ E	70	5	1,000×1	危険物専用
	9 号岸壁		60	4.5	700×1	〃
賀露	1 号岸壁	35° 32.3′ N 134° 11.2′ E	90	3～5	—	漁船係留用
	2 号岸壁	35° 32.2′ N 134° 11.3′ E	180	3.5～4	—	〃
西浜	-4.5m岸壁	35° 32.3′ N 134° 10.8′ E	560	3.5～5	—	〃

錨地 磯島（35° 32.5' N 134° 11.0' E）南側の西防波堤と千代3号岸壁の間は、帯状に底質岩のところがあるが、その他は砂で錨かきは良い。

錨泊上の注意 港内は狭く大型船の錨泊には適さない。

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
鳥取海上保安署	0857-32-0118	鳥取県鳥取港湾事務所	0857-28-2432
神戸税関税関支署鳥取監視署	0857-25-1115		

補給 清水の補給ができる。給油船(A重油)がある。

医療機関

名称	電話番号	備考
鳥取県立中央病院	0857-26-2271	

所は底質細砂で、500 t 級船舶が錨泊できるが狭い。

補給 清水、燃料油及び水の補給ができる。給油船がある。

修理 造船所（最大上架能力 100 t）がある。

海事関係官公署

官 公 署 名	連 絡 先
兵庫県但馬県民局新温泉土木事務所	0796-82-5680

津居山港 (35° 38.9' N 134° 50.1' E) (海図W160) (JP TYN)



(2020 年 6 月撮影)

港種 港則法適用港

概要 柴山港の東方約 9Mの円山川河口にある港で、港口西側に津居山島(35° 39.2' N 134° 50.0' E)（高さ 159mの大成《オオナル》山がある。北東端付近に灯台がある）があり、その南側に泊地と係船施設がある。港口が北方へ開いているので、北寄りの風のときには波浪が侵入する。

湾口西の導流堤(35° 39.1' N 134° 50.3' E)（破損し潜堤状態、北東端に灯台がある）と東導流堤~~（北東端に灯台がある）~~との間は幅約 100mで狭く、港内は砂泥の堆積のために水深が変化しやすい。

港湾施設

名 称	概 位	長 さ (約m)	水 深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
小 島 岸 壁	35° 38.7' N 134° 49.6' E	90	3～5	1,000×1	
津居山港耐震岸壁		65	3	300×1	小島岸壁の南西隣

錨地 円山川河口(35° 39.1' N 134° 50.3' E)に泊地（幅約 120m、水深 5～6m）がある。

補給 岸壁で清水、燃料油及び水の補給ができる。給油船がある。

修理 造船所があり 200 t まで上架できる。

医療施設

名 称	電話番号	備 考
公立豊岡病院組合立豊岡病院	0796-22-6111	

大君ドルフィン	35° 28.4' N 135° 19.2' E	—	10	15,000×1	旧大君貯木場前面
平ドルフィン	35° 30.3' N 135° 23.4' E	—	10	15,000×1	
国際ふ頭 1 号岸壁	35° 28.3' N 135° 19.8' E	280	14	50,000×1	



(2015 年 7 月撮影)

東港

名 称	概 位	長 さ (約m)	水 深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
前 島 ふ 頭	1 号岸壁	35° 28.8' N 135° 23.6' E	130	6.5~7	5,000×1
	2 号岸壁	35° 28.9' N 135° 23.5' E	260	9	8,000×1 フェリーターミナルがある。
	3 号岸壁	35° 28.9' N 135° 23.4' E	180	5	2,000×2



(2015 年 7 月撮影)

最大入港船舶 2025 年 11 月 28 日、客船 SPECTRUM OF THE SEAS (169,379 t、喫水 8.5m) が国際ふ頭 1 号岸壁に着岸した。

係船浮標 第 2 区入口付近に 4 基 (海上自衛隊専用) があり、第 3 区鳥島南東方約 350m に 2 基 (ジャパンマリンユナイテッド船専用) がある。

錨地 この港は四方の風を防ぎ、底質はおおむね泥で錨かきは良い。危険物積載船が錨泊する時は、第 3 区に錨泊しなければならない。

障害物 常宮湾に多数の陰悪物がある。

入港上の注意 港口から港奥までの水深は深く、地形が分かりやすいので、昼夜とも容易に入港できる。しかし、湾口の西側及び東岸には定置網があるので、注意が必要である。浦底湾に入る場合は、湾口の灯浮標（35° 44.0' N 136° 02.6' E）を完全にかわしてから湾の中央部を通航する。

航泊制限 引火性危険物積載タンカーの引火による事故を防止するため、一般船舶は、港内に停泊中の同タンカー（タンク船を含む）から 30m 以内の海面に立ち入ることが禁止されている。なお、同タンカーは、港内停泊中、夜間でも容易に視認しうる「引火性危険物積載中」の垂れ幕等を掲げている。

港湾施設

名 称	概 位	長 さ (約m)	水 深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
鞍山北岸壁	A	130	7.5～12.5	5,000×1	
	B	240	12～13	30,000×1	
	C	240	12～14	30,000×1	
	D	240	9.5	20,000G/T×1	カーフェリーが発着
鞍山南岸壁	A	280	14～14.5	50,000×1	クレーン1基
	B	180	13.5～14	50,000×1	
金ヶ崎岸壁	C	170	9～9.5	10,000×1	
	D	130	7.5	5,000×1	
桜 岸 壁	E	100	5～6	2,000 G/T×2	
	F	90			
蓬 萊 岸 壁	G	390	5.5～6.5	6,000 G/T×3	
	H				
	I				
川崎松栄岸壁	A	200	7～7.5	10,000 G/T×1	
	B	370	8.5～9.5	15,000 G/T×2	クレーン1基
	C				

上表のほか、鞍山北岸壁の南側に北陸電力・敦賀セメント共同岸壁（係船能力 60,000D/W×1）及び巡視船専用岸壁等がある。

水先 水先法という水先区ではないが、水先の要請は敦賀海陸運輸(株) (TEL 0770-22-3111) が連絡取り次ぎを行う。

最大入港船舶 2025 年 11 月 7 日、客船 DIAMOND PRINCESS（115,875t、喫水 8.5m）が鞍山南岸壁に着岸した。

錨地 常宮湾は、水深 20m 前後、底質泥で錨かきが良く、小型船向きの好錨地である。

浦底湾は、南東風の強吹時を除き、中央部の水深 20m 前後、底質泥の所が良く、500 t 級船舶が錨泊できる。

検疫錨地は、常宮湾口にある。危険物積載船が錨泊する時は、検疫錨地及び敦賀港第 2・4 区（鞍山防波堤先端から 0.6 海里以内及び同先端から真方位 0 度に引いた線以西を除く）で陸岸から安全距離を確保した場所に錨泊しなければならない。

錨泊上の注意 湾内東岸及び西岸の 500m 沖合までは、小型定置網及び養殖筏等が多数設置されている。また北寄りの風の強吹時は、常宮湾又は浦底湾に避泊するとよい。

台風・津波対策 台風・津波等による海難事故を防止するため、敦賀港事故防止連絡協議会 台風・津波等対策委員会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している（問合せ先：敦賀海上保安部）。

越前漁港 (35° 56.0' N 135° 59.5' E) (海図W1296)

(2020年6月撮影)

概要 干飯埼の北方約3.2Mにある漁港で、厨～梅浦の2M間に各船だまりがあり、南東から順に厨、道口、大樟《オコノギ》、小樟《ココノギ》、城ヶ谷、新保、梅浦の7地区に分かれている。厨、道口地区の入口付近には岩礁がある。厨船だまりには－4m岸壁(延長245m)、大樟船だまりには－4m岸壁(延長195m)、小樟船だまりには－5m岸壁(約225m)がある。北西季節風期には、城ヶ谷船だまりは使用できない。

補給 小樟地区で清水、燃料油及び氷の補給ができる。

目標

地物名	概位	備考
雄島	36° 15.0' N 136° 07.1' E	高さ 42m、灯台がある。
東尋坊タワー	36° 14.2' N 136° 07.6' E	高さ 100m、白色、顕著
煙突	36° 12.5' N 136° 07.9' E	高さ 206m、白色、火力発電所構内

障害物 福井北防波堤の南方約 390m (36° 11.8' N 136° 07.2' E) の海底に陰悪物がある。

入港上の注意 三国区は、北西風の強吹時、九頭竜川河口に三角波が立ち保針に困難をまねくので、入港船は約 0.5M 沖から針路を設定しておく必要がある。河口及び付近の水深は変化しやすく、三国防波堤南方から南東方の水深は約 0.5～2.5m 減少しているの、できる限り、九頭竜川の中心より北側を航行したほうがよい。出水時には流れが強く最大 7kn に達し、砂泥の堆積、漂砂などのため水路の状況が非常に変化する。

福井区も、北防波堤入口付近の水深は九頭竜川からの土砂流入により変化しやすく、浅所が多数報告されているので、水路通報、港湾管理者等からの情報を注意すること。また、20 t 以上の船舶については運航調整が行われている。

西方から入港してくる場合は、舞鶴港沖で「まいづるほあん」を VHF16ch で呼び出して、福井港の気象状況を照会し、入港不可能な場合は、若狭湾西部の宮津湾に避泊するとよい（舞鶴港の通信の項参照）。

水先 水先法にいう水先区ではないが、水先の要請は福井埠頭(株) (TEL 0776-82-5330) が連絡取次ぎを行う。

航泊制限 船舶は、港内に停泊中の引火性危険物積載船舶から 30m 以内の海面に立ち入る事が禁止されている。なお、同タンカーは、港内停泊中、夜間においても容易に視認しうる「引火性危険物積載中」の垂れ幕等を掲げている。

港湾施設

名称	概位	長さ (約m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考
公共ドルフィン	36° 12.0' N 136° 07.4' E	188	7.5	6,000×1	
北 ふ 頭	1～3 号岸壁	555	8.5～9.5	15,000×3	
	4～8 号岸壁	650	4.5～7	5,000×5	
	10 号岸壁	130	2～3.5	5,000×1	
	－5.5m 岸壁	180	4.5	2,000×2	
	耐震岸壁 I	100	1.5～4.5	2,000×1	

(注意) 岸壁前面の水深は九頭竜川からの土砂流入により変化しやすいので、最新の海図を使用すると共に、水路通報、港湾管理者等からの情報に注意すること。

最大入港船舶 2019 年 9 月 13 日、客船 ぱしふいつくびいなす (26,594 t、喫水 6.5m) が北ふ頭 1 号岸壁に着岸した。

シーバース 福井南防波堤灯台の南西方約 2.2M に、福井石油備蓄シーバース (36° 10.8' N 136° 04.8' E) (300,000D/W×1 基) がある。

錨地 三国区の九頭竜川河口のケカチ岩 (36° 13.2' N 136° 08.3' E) 南東側から上流約 450m に至る間は、水深 4～6m で、500 t 前後の船舶が錨泊できる。

錨泊上の注意 九頭竜川の川底は、岩盤の上に厚さ約 1m の砂が堆積したもので、錨かきはあまり良くない。出水時には走錨のおそれもあるという。三国防波堤と片苔《カツ》埼の間は、水深 4m 以下で、底質は砂又は岩で錨かきは悪く、東寄りの風のとき以外は錨泊に適さない。

最大入港船舶 2025 年 11 月 7 日、客船 MSC ベリッシマ（171,598 t、喫水 8.7m）が大浜ふ頭に着岸した。

錨地 旧金石港（36° 36.2′ N 136° 35.4′ E）の北から北西方の沖合 0.7～1M の水深 11～16m 付近は底質細砂で、かつ、遠浅であり、はえ縄、刺網等の漁具が多数あるので、錨泊には注意が必要である。検査錨地は大野灯台の北西方約 1.4M にある。

錨泊上の注意 冬季北西風の強吹時は、走錨の危険があるので錨地には向かない。

なお、岸壁係留中の船舶は、北西風の強吹時でも係留に支障はない。

台風・津波等対策 台風・津波等による海難事故を防止するため、金沢港台風・津波等対策協議会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達を実施するとともに、金沢港長から港則法に基づく警戒勧告、避難勧告の発出、解除を行っている。（問合せ先：金沢海上保安部）

海事関係官公署

官 公 署 名	連 絡 先	官 公 署 名	連 絡 先
金沢海上保安部（港長）	076-267-0511	名古屋植物防疫所 伏木富山支所小松空港出張所	0761-24-1406
大阪税関金沢税関支署	076-268-9181	名古屋出入国在留管理局 金沢出張所	076-222-2450
新潟検疫所金沢・七尾出張所	0761-21-3767 (小松空港出張所へ連絡)	石川県金沢港湾事務所	076-268-1201
動物検疫所 中部空港支所小松出張所	0761-24-1407 (小松空港内)		

通船 通船がある。

引船 引船がある。

補給 清水が補給できる。給油船がある。

修理 小さな造船所があり、100 t 以下の船舶の修理ができる。

廃油処理施設

事 業 者 名	申 込 先	利 用 時 間	処 理 す る 廃 油 の 種 類	
			廃 重 質 油	廃 軽 質 油
(株)ダイセキ	北陸事業所 076-275-6585	0900 ～ 1600	水バラスト、スロップオイル、コレクトオイル、タンク洗浄水、ビルジ、スラッジ、その他	水バラスト、タンク洗浄水、スロップオイル、スラッジ、その他

医療施設

名 称	電話番号	備 考
石川県立中央病院	076-237-8211	
済生会金沢病院	076-266-1060	

滝 埼～猿山岬（海図W1161）

概要 滝埼～猿山岬間の約 25M は、能登半島の西岸で、ほぼ中央に**海士埼**がある。

海士埼の南に**福浦港**（37° 05.1′ N 136° 43.3′ E）（港則法適用港）（JP FRJ）、**富来漁港**などの諸港がある。

港船舶に対し、余裕水深（喫水×1/10+波高×2/3）を確保するよう指導されている。

港湾施設

名 称	概 位	長 さ (約m)	水 深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
国分1号岸壁	36° 48.1' N 137° 03.5' E	95	5	2,000×1	石油製品
国分2号岸壁	36° 48.1' N 137° 03.4' E	65	3～4.5	1,000×1	石油製品
国分3号岸壁		140	3～4	1,000×2	

補給 清水の補給ができる。

岩崎ノ鼻付近



北東方から岩崎ノ鼻を望む

伏木区及び付近（海図W1162^A）



（2020年9月撮影）

概要 小矢部川の河口に位置し、古くから対岸貿易港として栄えた港である。背後は臨海工業地帯で、主な輸出入貨物は石油製品、木材などである。春の雪解け時及び河川の増水時には、河口の流速が3～4knに達する。

また、海水が黄色に濁るので、定置網などの標識の視認が困難となることがある。川の流れと風により異常な波浪が起こる。

航路 港界から伏木区に至る伏木航路（長さ約2.2M、幅約350～550m）があり、屈曲部付近に灯浮標

港湾施設

名 称		概 位		長 さ (約m)	水 深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
公 共 ふ 頭	中央 1 号岸壁	36° 46.1′ N	137° 06.6′ E	280	13.5～14	55,000×1	クレーン
	中央 2 号岸壁	36° 46.1′ N	137° 06.5′ E	280	14	55,000×1	クレーン、コンベア
	中央 3 号岸壁	36° 46.1′ N	137° 06.4′ E	275	9～10	15,000×1	クレーン
	中央 5 号岸壁	36° 46.2′ N	137° 06.1′ E	130	7.5	5,000×1	
	中央 6 号岸壁	36° 46.2′ N	137° 06.1′ E	130	7.5	5,000×1	
	中央 7 号岸壁	36° 46.2′ N	137° 06.0′ E	60	4	700×1	
	中央 8 号岸壁	36° 46.2′ N	137° 05.9′ E	60	未測	700×1	
北 1 号岸壁		36° 46.4′ N	137° 06.3′ E	280	12.5～13	30,000×1	ガントリークレーン 耐震岸壁
北 2 号岸壁		36° 46.4′ N	137° 06.1′ E	185	7～10	15,000×1	
北 3 号岸壁		36° 46.4′ N	137° 06.0′ E	60	5～5.5	700×1	
北 4 号岸壁		36° 46.4′ N	137° 06.5′ E	128	12	30,000×1	ガントリークレーン
南水路栈橋		36° 46.0′ N	137° 06.7′ E	36	6	3,000×1	
東 1 号岸壁		36° 45.4′ N	137° 07.8′ E	185	8～9.5	15,000×1	
東 2 号岸壁		36° 45.5′ N	137° 07.7′ E	185	6～8.5	15,000×1	
海 王 岸 壁		36° 46.7′ N	137° 06.6′ E	220	7	15,000G/T×1	

最大入港船舶 2018年10月4日、LNG船 SERI ALAM (95,729 t、喫水 12.43m) が北陸電力富山新港火力発電所 LNG 受入栈橋に着岸した。

停泊地 新湊航路東側に新湊沖船舶停泊地東 A～C (36° 47.3' N 137° 08.7' E) 及び新湊沖船舶停泊地西 A～C (36° 47.4' N 137° 08.3' E) の6灯浮標で囲まれる停泊地がある。日没から日出までの間、停泊禁止である。停泊地東西の定置網の設置に注意すること。

海事関係官公署

官 公 署 名	連 絡 先
富山県富山新港管理局	0766-84-8292

医療施設

名 称	電話番号	備 考
射水市民病院	0766-82-8100	

海上交通 新湊大橋南側の水路を横断する渡船（通称 越ノ潟フェリー）(44 t、46 t) が頻繁に運行されている。

富山区及び付近（海図W1162^A）

(2020年9月撮影)

寺 泊 港 (37° 39.1' N 138° 45.5' E) (海図W1470) (JP TRD)



(2020 年 4 月撮影)

港種 港則法適用港

概要 柏崎港の北東方約 19Mにある港。~~で、佐渡島への最短コースとなる観光拠点港として発展が期待されている。~~ 港口付近は、大河津分水路からの砂の流入があり、水深が変化しやすいので注意する。

港湾施設

名 称	概 位	長 さ (約m)	水 深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
中央ふ頭 1 号岸壁	37° 38.5' N 138° 45.9' E	105	3.5~4.5	1,000×1	
中央ふ頭 2 号岸壁	37° 38.5' N 138° 45.8' E	90	4	2,000×1	
西 ふ 頭 岸 壁	37° 38.4' N 138° 45.7' E	100	3.5~4.5	2,000×1	

避泊上の注意 北西寄りの風有的时候には、波浪が侵入して入港困難となるので、注意を要する。

補給 清水の補給ができる。

新 潟 港 (37° 59.0' N 139° 06.6' E) (海図W1155^A、W1155^B、W1197) (JP KIJ)

港種 特定港、開港、検疫港、出入国港、家畜検疫の港、植物検疫の港、国際拠点港湾

概要 新潟市にある特定港かつ国際拠点港湾であり、港は西区、東区及び外港に分かれ、一般に西区を西港、東区を東港という。西区は信濃川の河口部に位置し、主にカーフェリー・旅客船及びジェットfoilが発着し、新潟の玄関口として利用されているが、土砂の堆積により水深が変化するため、常に掘下げ作業が行われている。東区は信濃川河口の東方約 8Mに造成された掘込式港湾で、日本海沿岸最大のエネルギー供給基地として、年間 300 万トンのLNGを扱っているほか、耐震岸壁を備えたコンテナ基地としても整備され、国際流通港湾としての役割が増大している。

気象 冬季は北西の季節風が卓越し、3~6 日の周期で強まる傾向がある。4~10 月は南風が多く 11 月からしだいに西寄りの風に変わる。

また、晩冬から早春にかけては、東シナ海に発生して日本海で発達する低気圧の影響で、南西から西に回

る突風が吹くことがある。

冬季の荒天時には、港口付近で波高が6～7mに達することもある。

潮流 西区の潮流は北東、南西方へ流れ、流速は0.5kn以下である。しかし、信濃川河口付近の流れは強く、平均流速は1kn前後で、東防波堤の先端から東方へ向かう流れがある。

潮汐 この港の西区における平均高高潮は0.3m、平均低低潮は0.1m、平均水面は0.17mである。

海難 西区入口付近で、乗り揚げの事例がある。**最近で過去には**、1999年1月に貨物船が走錨し、第1西防波堤に乗り揚げ沈没した事例がある。

障害物 阿賀野川河口の北北西方約5.4Mに水中障害物がある。

入港上の注意 冬季に入港する場合、北西の強風により圧流されるおそれがあるので注意を要する。

行先信号

	信 号	目 的 地 に 関する記号	信 文
進路表示信号（平成7年海上保安庁告示第35号）及び船舶自動識別装置の目的地に関する記号（平成22年海上保安庁告示第94号）	2代・W	W	西区信濃川の西側の係留施設に向かって航行する。
	2代・W・B	WB	西区信濃川の東側の万代島ふ頭の係留施設に向かって航行する。
	2代・W・D	WD	西区信濃川の東側の導流堤の東側の係留施設に向かって航行する。
	2代・W・T	WT	西区信濃川東岸の通船川沿いの係留施設又は山の下ふ頭北側岸壁に向かって航行する。
	2代・W・R	WR	西区臨港ふ頭の係留施設に向かって航行する。
	2代・E	E	東区東側の係留施設に向かって航行する。
	2代・E・W	EW	東区西側の係留施設に向かって航行する。

通信 船舶と港長との間で、無線電話による通信ができる。

呼 出 名 称	周 波 数 (呼出・応答/通信)	運用時間	連 絡 先
にいがたほあん NIIGATA COAST GUARD RADIO	16/12ch	常 時	新潟海上保安部（港長）

水先 新潟水先区水先人会に要請する。（第1編総記 第6章水先参照）

水先人会は、入港待機で錨泊する際は第2西防波堤の延長線上の西側で水深20m以深の所に錨泊するよう要望している。

航泊制限 一般船舶は、港内に引火性危険物積載タンカー（タンク船を含む）が停泊している間、同タンカーから30m以内の水面に立ち入ってはならない。なお、同タンカーは「引火性危険物積載中」と表示された垂れ幕等を掲げている。

錨地 危険物積載船が錨泊するときは、外港に錨泊しなければならない。なお、外港において沖荷役は、行われていない。検疫錨地は、新潟港西区西突堤灯台の北西方約0.8Mにある。

新潟港長は、外港に検疫待ち等のため錨泊し、待機する各種船舶及び油送船（危険物及び重油積載船舶）に対し、下記事項について十分留意し、万全を期すよう指導している。

- 1 新潟港西区沖合の外港に錨泊する場合は、なるべく陸岸及び防波堤との間の距離を十分に確保しなおかつ自船の能力に応じた水深を考慮のうえ、新潟港西区西突堤灯台（37° 57.5' N 139° 04.1' E）から北北西の線以西の港域内、または、その付近を利用すること。なお、西区第2西防波堤東側の信濃川の流水域や新潟港東海岸地区沖合は避けること。

- 2 新潟港東区沖合の外港に錨泊する場合は、なるべく陸岸及び防波堤との間の距離を十分に確保し、なおかつ自船の能力に応じた水深を考慮のうえ、新潟港東区西防波堤の西側を利用すること。なお、付近には、海底送油管や魚礁が設置されているので海図により確認すること。
- 3 油送船（危険物及び重油積載船舶）が外港に錨泊する場合は、できる限り次の区域とすること。
 - (1) 西区に入出港する上記船舶で喫水の深い船舶は、新潟港西区西突堤灯台から $284^{\circ} 1.8\text{M}$ の地点 ($37^{\circ} 58.0' \text{ N } 139^{\circ} 01.9' \text{ E}$ 概位) を中心とする半径 800m の円内海域を、その他の船舶は同灯台から $260^{\circ} 1.5\text{M}$ の地点 ($37^{\circ} 57.2' \text{ N } 139^{\circ} 02.3' \text{ E}$ 概位) を中心とする半径 500m の円内海域を利用すること。
 - (2) 東区に入出港する上記船舶で喫水の深い船舶は、新潟港東区西防波堤灯台 ($38^{\circ} 01.2' \text{ N } 139^{\circ} 13.9' \text{ E}$) から $252^{\circ} 1.8\text{M}$ の地点 ($38^{\circ} 00.6' \text{ N } 139^{\circ} 11.7' \text{ E}$ 概位) を中心とする半径 800m の円内海域を、その他の船舶は同灯台から $232^{\circ} 1.6\text{M}$ の地点 ($38^{\circ} 00.2' \text{ N } 139^{\circ} 12.3' \text{ E}$ 概位) を中心とする半径 400m の円内海域を利用すること。
- 4 外港に錨泊した無線設備を有する船舶は、直ちに港務通信その他の方法により錨泊位置を港長あて通報すること。また、港長からの指示、指導に即応できるよう VHF 無線電話 16ch を常時聴守すること。
- 5 錨泊中に荒天が予想される場合は、守錨当直を強化するとともに船位の確認、機関用意、増錨、沖出し等早期に適切な警戒手段を講ずること。また、最新の気象情報の入手に努めること。
- 6 冬季の間は外港での長期停泊を避けるとともに、季節風による荒天が予測される場合は、早期に佐渡島側に避難し、両津港もしくは赤泊港沖合にて錨泊するか、同島南側の佐渡海峡で漂泊あるいはちちゅうすること。
- 7 港内では諸工事が行われているので、海図及び水路誌を備えるとともに、水路通報等により最新情報の入手に努めること。

錨泊上の注意 強風時に錨泊して待機する船舶は、走錨に十分注意を要する。

台風・津波対策 台風・津波等による海難事故を防止するため、新潟県東部排出油等防除協議会 津波・台風等対策委員会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している（問合せ先：新潟海上保安部）。

引船 引船があり、東区、西区の両区で業務を行っている。

西区及び付近（海図W1155^A）



（2020 年 7 月撮影）

目標

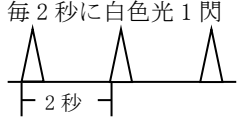
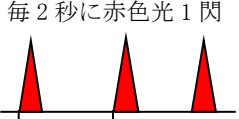
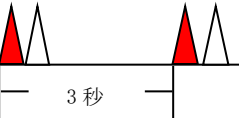
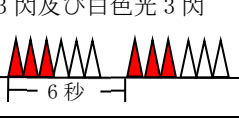
地物名	概位	備考
煙突	37° 56.8' N 139° 04.9' E	高さ122m、赤白塗、火力発電所構内に1基
山の下みなとタワー	37° 56.7' N 139° 04.3' E	高さ約40m、新潟みなとトンネルの立坑、頂部円筒形
入船みなとタワー	37° 56.6' N 139° 03.7' E	高さ約40m、新潟みなとトンネルの立坑、頂部円筒形
無線塔	37° 55.3' N 139° 03.1' E	高さ93m、赤白塗、パラボラアンテナ付
朱鷺メッセ	37° 55.5' N 139° 03.6' E	高さ約140m、灰色、31階建、頂部付近に赤灯点灯
著屋	37° 55.1' N 139° 03.4' E	高さ約105m、ガラス張り20階建（新潟日報メディアシップ）、頂部に赤灯点灯
著屋	37° 55.4' N 139° 02.6' E	高さ125m、灰色、20階建（NEXT21）、上部尖塔は夜間照射され、頂部に赤灯が点滅

針路法 冬季、西区に入港する場合、第2西防波堤の北北東方から進入しようとする、北西の強風と川の流れに圧流されて陸岸に接近するおそれがあるから、できるだけ第2西防波堤の北北西方から接近する。

港口に接近したならば、西突堤基部南側にある新潟信号所(37° 56.7' N 139° 03.8' E)と無線塔(目標の項参照)とを一線に見て進入し、新潟港西区西突堤灯台(37° 57.5' N 139° 04.1' E)付近から適宜水路の中央を通して入港する。

信号 新潟信号所(37° 56.7' N 139° 03.8' E)で、航行管制信号を行っている。

航行管制 (港則法第36条の3第1項、同施行規則第20条の2) 西区へ出入港する一定の船舶の行き会いを防止するため航行管制が行われ、次表のとおり新潟信号所で行う信号に従って航行しなければならない。

名 称	信 号 の 方 法		信 号 の 意 味
	閃光による信号 (昼夜間)	形象物による信号 (昼間のみ)	
入航信号	毎2秒に白色光1閃 	黒色の上向き円すい形 形象物1個 	入航船は入航可 総トン数500t(油送船は300t)以上の出航船は、 運航を停止して待機 総トン数500t(油送船は300t)未満の出航船は、 出航可
出航信号	毎2秒に赤色光1閃 	黒色の方形 形象物1個 	出航船は出航可 総トン数500t(油送船は300t)以上の入航船は、 水路外で待機 総トン数500t(油送船は300t)未満の入航船は、 入航可
入出航禁止信号	毎3秒に順次に赤色光1閃及び白色光1閃 	黒色の鼓形 形象物1個 	総トン数500t(油送船は300t)以上の入航船は、 水路外で待機 総トン数500t(油送船は300t)以上の出航船は、 運航を停止して待機 総トン数500t(油送船は300t)未満の入出航船は、 入出航可
港長指示船舶以外 入出航禁止信号	毎6秒に順次に赤色光3閃及び白色光3閃 	縦に上から 黒色の鼓形 形象物1個 及び赤色の 方旗1旗 	港長の指示を受けた船舶以外の船舶は、入出航禁止

港湾施設

名 称		概 位	長 さ (約m)	水 深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
山 の 下 ふ 頭	北側岸壁	37° 56.5′ N 139° 04.0′ E	330	6.5～8.5	10,000×2	南・北両側は浅い。
	南側岸壁	37° 56.3′ N 139° 04.1′ E	260	6.5～8.5	5,000×2	カーフェリー用 耐震岸壁(港口側 30m)
通船川右岸岸壁		37° 56.2′ N 139° 04.1′ E	90	3～4	2,000×1	
通船川左岸岸壁		37° 56.2′ N 139° 04.1′ E	95	3	700×1	
北 ふ 頭	1 号 岸 壁	37° 56.1′ N 139° 04.0′ E	330	8～8.5	10,000×2	
	2 号 岸 壁	37° 56.0′ N 139° 04.0′ E	97	6	5,000×1	
東 ふ 頭 岸 壁		37° 55.9′ N 139° 04.0′ E	231	5.5～6.5	5,000×2	
中 央 ふ 頭	北 側 岸 壁	37° 55.9′ N 139° 03.9′ E	294	8～8.5	10,000×2	
	先 端 岸 壁	37° 56.0′ N 139° 03.9′ E	137	6.5～8	5,000×1	カーフェリー用
	南 側 岸 壁	37° 55.8′ N 139° 03.9′ E	307	6.5～7	5,000×2	
南 ふ 頭 岸 壁		37° 55.7′ N 139° 03.9′ E	288	5.5～7	5,000×2	
万 代 島 ふ 頭	ふ 頭 岸 壁	37° 55.6′ N 139° 03.7′ E	391	3～6	3,000×3	
	先 端 岸 壁	37° 55.8′ N 139° 03.8′ E	90	4.5～5.5	300×2	ジェットフォイル用
	万代島信濃川右岸 第1バース岸壁	37° 55.8′ N 139° 03.7′ E	193	4.5～6.5	6,000×1	カーフェリー用
	万代島信濃川右岸 第2バース岸壁	37° 55.7′ N 139° 03.6′ E	193	4～5	6,000×1	カーフェリー用
	万代島信濃川右岸 第3バース岸壁	37° 55.6′ N 139° 03.6′ E	136	3～5	2,000×1	南・北両側は浅い。

上記のほか、臨港ふ頭がある。

海事関係官公署

官 公 署 名	連 絡 先	官 公 署 名	連 絡 先
第九管区海上保安本部	025-285-0118	東京税関新潟税関支署	025-244-9312
新潟海上保安部 (港長)	025-244-1008	新潟検疫所 (本所)	025-241-2323
北陸信越運輸局 (本局)	025-285-9156	横浜植物防疫所新潟支所	025-244-4401
東京出入国在留管理局新潟出張所 (新潟空港ターミナルビル内)	025-275-4735	新潟県新潟地域振興局 新潟港湾事務所	025-247-9131

補給 給水施設及び給油船がある。

修理

造 船 所 名	電 話 番 号	備 考
常石三保造船株	025-222-6121	

廃油処理施設

事業者名	申込先	利用時間	処理する廃油の種類	
			廃重質油	廃軽質油
青木環境事業（株）	025-255-3360	0800～1700	事前確認のこと	

医療施設

名称	電話番号	備考
新潟臨港病院	025-274-5331	
新潟万代病院	025-244-4700	

海上交通 両津港 {佐渡島} との間にカーフェリー便（5,855 t、5,380 t）及びジェットフォイル便がある。敦賀港、秋田船川港 {秋田区}、苫小牧港及び小樽港との間には、カーフェリー便（18,229 t 等）がある。

東区及び付近（海図W1155^B）

（2020年4月撮影）

目標

地物名	概位	備考
煙突	37° 59.9' N 139° 14.5' E	火力発電所構内に4基、高さ165m、210m、209m、208m、白色閃光灯付
タンク群	38° 00.0' N 139° 14.1' E	石油備蓄用、銀色、多数あり、顕著

海底管 東区中央ふ頭東岸壁からMGCターミナル新潟東港岸壁に至る間にガス、油の海底管（37° 59.4' N 139° 13.4' E）がある。また、岩船港沖石油掘削塔（38° 08.0' N 139° 20.3' E）（白灯がある）から西防波堤基部西側に至る間に海底管がある。

信号 福島潟放水路及び新発田川放水路からの洪水放水情報を示す私設信号灯が南ふ頭木材 2 号岸壁西端 (37° 58.3' N 139° 14.1' E) 及び西 2 号栈橋北西 (37° 59.5' N 139° 12.9' E) に設置されている。

信 号	信 文	備 考
ㄷ	放 流 予 告	福島潟放水路及び新発田川放水路からの放流予告と放水口の流速を表示
F H	福島潟放水路	
S H	新発田川放水路	
0.0	流速 0.0kn	
0.5	流速 0.5kn	
1.0	流速 1.0kn	
↑	1.0kn 以上	

港湾施設

名 称		概 位	長 さ (約m)	水 深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
東 1 号栈橋		37° 59.6' N 139° 13.7' E	84	13.5	50,000×1	ドルフィン
東 3 号栈橋		38° 00.0' N 139° 13.6' E	394	12～13.5	102,000×1	ドルフィン、北西端に灯がある。
中央ふ頭東 1 号岸壁		37° 59.4' N 139° 13.6' E	260	12～13	40,000×1	
中央ふ頭東 2 号岸壁		37° 59.2' N 139° 13.7' E	260	12.5～13	40,000×1	
東 ふ 頭	1 号岸壁	37° 58.6' N 139° 14.1' E	280	14	50,000×1	クレーン
南 ふ 頭	木材 1 号岸壁	37° 58.3' N 139° 14.2' E	185	9.5～10	18,000×1	東側に木材整理場がある。
	木材 2 号岸壁	37° 58.3' N 139° 14.1' E	185	9.5～10	18,000×1	
西 ふ 頭	1 号岸壁	37° 58.1' N 139° 13.9' E	130	6～7	5,000×1	耐震岸壁、コンテナクレーン
	2 号岸壁	37° 58.2' N 139° 13.8' E	185	9～9.5	15,000×1	コンテナクレーン
	3 号岸壁	37° 58.2' N 139° 13.6' E	350	11.5～12	30,000×1	コンテナクレーン (2 基)
	4 号岸壁	37° 58.1' N 139° 13.4' E	250	11.5～12	30,000×1	耐震岸壁、コンテナクレーン
中央ふ頭西岸壁		37° 59.0' N 139° 13.5' E	232	12～12.5	40,000×1	
西 3 号栈橋		37° 59.5' N 139° 13.1' E	118	7.5	5,000×2	各 A・B 両面がある。
西 2 号栈橋		37° 59.5' N 139° 13.0' E	135	7～7.5	5,000×2	
西 1 号栈橋		37° 59.6' N 139° 13.0' E	135	6.5～7.5	5,000×2	

また、港奥の防波堤内に船だまり（水深 4m 前後）がある。

補給 清水及び燃料油の補給ができる。

海事関係官公署

官 公 署 名	連 絡 先
新潟県新潟地域振興局新潟港湾事務所東港分所	025-256-2503
東京税関新潟税関支署東港出張所	025-256-3458

岩 船 港 (38° 11.0' N 139° 25.2' E) (海図W1153) (JP IWH)



(2020年4月撮影)

港種 港則法適用港

概要 新潟港の北東方約18Mにある港で、新潟県北地方の流通拠点港であり、また粟島の生活、観光航路の拠点港としての役割も果たしている。港口付近は、冬季の荒天により砂泥が堆積し、水深が減少する。

港湾施設

名 称	概 位	長 さ (約m)	水 深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
1 号 岸 壁	38° 11.4' N 139° 25.9' E	105	5.5	2,000×1	
2 号 岸 壁		105	5.5～6	2,000×1	1号岸壁の南東隣
3 号 岸 壁	38° 11.3' N 139° 25.9' E	118	3.5～4.5	1,000×1	カーフェリー用
4 号 岸 壁	38° 11.2' N 139° 25.7' E	130	6.5～7.5	5,000×1	耐震岸壁
5 号 岸 壁	38° 11.2' N 139° 25.8' E	100	5.5	2,000×1	

補給 清水の補給ができる。

修理 小造船所がある。

医療施設

名 称	電話番号	備 考
村上総合病院	0254-53-2141	

海上交通 粟島漁港との間にカーフェリー便(654t) ~~及び高速船便(184t)~~ がある。

本 港	中島1号岸壁	39° 45.3' N 140° 03.5' E	161	8.5～10	10,000×1	
	中島2号岸壁	39° 45.4' N 140° 03.4' E	185	10～10.5	15,000×1	
	中島3号岸壁	39° 45.5' N 140° 03.3' E	185	10	15,000×1	
	北ふ頭A岸壁	39° 45.3' N 140° 03.5' E	122	6～7	5,000×1	
	北ふ頭B岸壁	39° 45.3' N 140° 03.6' E	155	6～6.5	5,000×1	
	南ふ頭C岸壁	39° 45.2' N 140° 03.6' E	155	4.5～5	2,000×1	
	南ふ頭D岸壁	39° 45.1' N 140° 03.6' E	90	5.5	2,000×1	
	下浜－5m岸壁	39° 45.0' N 140° 03.8' E	345	3.5～5	1,000×4	魚市場がある
内 港	寺内ふ頭岸壁	39° 44.7' N 140° 04.0' E	200	6～7	5,000×2	
向 浜	向浜－7.5m 1号岸壁	39° 44.9' N 140° 03.7' E	130	7	5,000×1	
	向浜－7.5m 2号岸壁		130		5,000×1	
	向浜－10m 1号岸壁	39° 45.0' N 140° 03.4' E	186	8.5～9	15,000×1	
	向浜－10m 2号岸壁	39° 45.1' N 140° 03.3' E	186	8～8.5	15,000×1	
	向浜－10m 3号岸壁	39° 45.2' N 140° 03.2' E	185	8.5～10	15,000×1	
	向浜－12m岸壁	39° 45.3' N 140° 03.1' E	240	12	30,000×1	

最大入港船舶 2025年11月6日、客船 MSC ベリッシマ（171,598 t、喫水 8.7m）が中島2号・3号岸壁に着岸した。

錨地 危険物積載船が錨泊するときは、第2区に錨泊しなければならない。

海事関係官公署

官 公 署 名	連 絡 先	官 公 署 名	連 絡 先
秋田海上保安部（港長）	018-845-1624	横浜植物防疫所新潟支所秋田出張所	018-845-1411
函館税関秋田船川税関支署	018-845-0735	仙台検疫所秋田船川出張所	018-846-8280
東北運輸局秋田運輸支局	018-863-5811	秋田県秋田港湾事務所	018-845-2021
仙台出入国在留管理局秋田出張所	018-895-5221		

引船 引船がある。

補給 清水、燃料油の補給ができる。給油船がある。

医療施設

名 称	電 話 番 号	備 考
市立秋田総合病院	0570-01-4171	
秋田厚生医療センター	018-880-3000	

海上交通 敦賀港・新潟港及び苫小牧港との間にカーフェリー便（18,229 t）がある。